

令和2年度

私たちの税金
どう使ったの？

決算審査



細かくチェック
しました！



決算特別委員会

令和2年度決算については、決算特別委員会で審査し各委員から数多くの質疑がありました。その中の主なものを紹介します。

株式等譲渡所得割交付金

Q 交付金額が前年度に比べ、ほぼ倍増している。増加の理由は。

A コロナ禍で自宅で過ごす時間が増えたことにより、若年層を中心にインターネットによる株取引が活発化したことなどで、国からの配分が多くなった。

職員提案制度

Q 事務の能率向上や経費節減につながる提案を役場職員に求める事業に対して3件の提案があったとのことだが、実際に採用されたものはあるか。

A 提案のあった3件のうち「公共施設管理の一元化」について採用し、令和3年度の公共施設の警備業務は一元化して入札を実施した。残りの2件の提案に関しては、実施が可能かどうか検討中である。

学校部分林管理事業

Q 桐生市内の国有地に所有する学校部分林(杉…2720本、檜…1388本)の今後の活用予定は。

A 教育委員会部局と協議し、令和5年度の契約期間満了をもって皆伐する計画とした。

群馬森林管理署による一般競争入札によって売却し、売却価格の8割が町の収益となる。収益金の使途については今後検討する。

選挙事務感染症予防緊急対策事業

Q 消耗品費50万円、備品購入費113万円を支出しているが、その内容は。

A 消耗品費として投票所等で使用するアクリル板を100枚、備品購入費として開票所で使用する投票用紙計数機を2台購入した。高速の計数機を活用することで、従事する職員の削減を図る。

行政情報発信事業

Q 委託料449万円の内容及び事業の成果は。

A (株)FMたまむらと委託契約を結び、定期的に町の情報を放送した。令和2年度は健康福祉課が行っている健康体操を放送し、好評をいただいた。